ふるさと歴史散歩

〔第164回〕松崎八幡宮址　その六

随分昔々の話で、千三百年前に編さんされた『古事記』に神武天皇は、東征途上に阿岐國の多祁理宮に7年、一方、『日本書紀』には、安藝國の埃宮に70日それぞれ駐留したとあり、宮の名前と駐留期間が違っている。江戸時代の国学者たちの見解は、宮の名の違いを「異名同所」と考え、その位置は府中村であるとした。しかし、国学者の谷川士清（1709年～1776年）は『日本書紀通証』の中で、府中村の総社の祭神は素盞男命、大己貴命、神武天皇の三座であり、また総社の辺の川を「埃湊」と言っており、総社が埃宮であることを示唆している。さらに、矢野玄道の『国華万葉記』によれば、埃の宮は安芸郡にあり、神武天皇御征伐の御時の皇居であると言う。『府中村社寺堂並に古跡古城由来の帳』寶永元（1704）年（原本不明につき『聖蹟安藝埃宮』を引用）には、「此所則榎の湊と申候、湊の薬師と申す小堂御座候」とある。埃の呉音は「え」と読み、「江」でもあり、入江を意味する。『安芸府中の文化』第6集（1973年刊）に、総社の御殿の後ろに川（榎木川）があり御霊川と唱え、その川下を「ヱの湊」と申している。そこに薬師堂があるから「湊の薬師」とも「ミなとんどう」とも言っている。

本居宣長は『古事記伝』で、書紀の埃宮は多祁宮と読むべきで、両宮の一致を主張するが、言語学上「埃」は「たけ」と読めないと記している。文政八（1826）年儒学者の頼杏坪が編集した『藝藩通志』巻三十九によれば、多家神社の項目に、多祁は「たけ」と読み、家は「け」と読み、理は伸音であるから、伊勢の多気郡に竹神社があるように、仮の宮などは「竹」で造ったのが後に社号となったのだろうと言う。多家は音読すべきで「おおいえ」は誤りである。そして松崎八幡宮境内に「たけい社」と言う小祠があるが、その由来を詳らかに出来ない。『延喜式』神名帳に安藝國に多家神社あり、この社が「たけ」と称するからには、多祁理と同じ宮であろうと考察している。要するに、埃宮と多祁理宮は同じで多家神社でもあると言う。多家神社は多祁理宮、たけい社とするのは理解できるが、しかし、『三代実録』や『延喜式』に見える多家神については、一体何者でどこにいったのか、詳細は次号に続く。

安芸府中の文化（府中町教育委員会）

府中町文化財保護審議会会長
横田　禎昭

消費生活相談

～注文した覚えがない商品が届いた！～

相談内容

「1か月前に注文を受けた健康食品が出来上がったので、お届けします」と突然電話があった。金額は約2万5千円だという。「そんなに高額な健康食品は注文していない」と答えたが、「注文しているので受け取ってもらわないと困る」と言われた。その言い方が怖かったので、「今回限りですよ」と言ってしまった。商品が届いたので仕方なく代金を支払ったが、納得がいかない。

（70代　女性）

アドバイス

「注文いただいた健康食品を送ります」などと電話があり、申し込んでいないと伝えても、強引に健康食品を送りつけられたという相談が後を絶ちません。

【ポイント】

◆申し込んだ覚えがなく購入するつもりもなければ、電話があったときに、きっぱりと断りましょう。

◆商品が届いても、代金を支払ってはいけません。事業者名、住所、電話番号をメモした上で、「受け取り拒否」をしましょう。自分だけで判断できない場合は、家族等に相談することも大切です。

◆電話で断りきれず商品が届いてしまった場合でも、クーリング・オフが出来ることがあります。

困ったときは、消費生活相談窓口にご相談ください。

消費生活相談員による相談窓口

町民生活課（役場4階）
☎286-3128
月～金曜日
午前9時～正午
午後1時～4時